

お知らせ

日本化学会第 103 春季年会(2023)参加登録について

第 103 春季年会実行委員会

主 催	公益社団法人 日本化学会
共 催	東京理科大学
会 期	2023 年 3 月 22 日(水)~25 日(土)
会 場	東京理科大学 野田キャンパス ※今後の COVID-19 感染状況によりオンライン方式に変更の可能性あり
実行委員長	井手本 康(東京理科大学 副学長・教授)
内 容	<p>アカデミックプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受賞講演、若い世代の特別講演、口頭 A 講演、口頭 B 講演、ポスター <p>シンポジウム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イノベーション共創プログラム、中長期テーマシンポジウム、アジア国際シンポジウム、特別企画 <p>併催シンポジウム・行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長講演、表彰式、コラボレーション企画、本会委員会主催シンポジウム(市民公開講座等)
重要な日程	<p>参加登録期間 2022 年 11 月 1 日~会期最終日 ※詳細は下記参加登録参照</p> <p>プログラム公開日 2023 年 1 月 16 日</p> <p>講演予稿集発行日 2023 年 3 月 8 日</p>
問合せ先	日本化学会 企画部 年会係 URL: https://confit.atlas.jp/guide/event/cs103rd/top

■参加登録費の区分が変更になっておりますのでご注意下さい。

■講演予稿集の発行形式は Web のみです。会期が終了して 3 カ月のち、年会参加者以外による閲覧を可能とします。

参加登録

[注意事項]

- ・講演申込者・講演者(登壇者)・連名者(共著者)の如何にかかわらず本年会に参加される方は、全員参加登録が必要です。※一部招待者を除きます。

1 登録期間

- (早期申込) 2022 年 11 月 1 日~2023 年 2 月 28 日
- (直前申込) 2023 年 3 月 15 日~会期最終日

2 登録方法

春季年会ウェブサイト上の参加登録フォームよりお申し込みの上、期日内に参加登録費をお支払い下さい。

3 参加登録費

参加登録費は以下の表のとおりです。

※10 月号に掲載の課税区分に一部誤りがありました。

正しくは以下のとおりです。

参加区分	参加登録費		課税区分
	早期申込	直前申込	
会員	一般 *1	15,000 円	18,000 円
	シニア/教育 *2	10,000 円	12,000 円
	学生 *3	5,000 円	6,000 円
	中高生(聴講のみ)	無料	無料
非会員	一般	27,000 円	32,000 円
	学生	5,000 円	6,000 円

*1 個人正会員および法人正会員に登録している機関に所属の方。

*2 シニア会員、永年会員、終身会員、教育会員の方。

*3 学生会員、教育学生会員、ジュニア会員、中高生会員(登壇者)の方。

4 支払い方法

支払い方法は下表のとおりです。

参加申込時期	支払い方法
早期申込	銀行振込、クレジットカード払い
直前申込	クレジットカードのみ

※郵便振替でのご送金、現金でのお支払いは承っておりません。

5 請求書・領収書

- 請求書は、参加登録および決済手続き開始後に、参加登録フォーム内(Confit 上)にて発行します。発行形式は PDF のみです。
- 領収書は、支払い確認完了後、参加登録フォーム内(Confit 上)にて発行します。発行形式は PDF のみです。
- 書式の変更等には対応いたしかねます。公費払い・校費払いの場合も同様に書式変更には対応できません。

6 参加票

参加票の事前送付はいたしません。参加者は自身にて参加登録フォームより参加票をダウンロード・印刷の上、会場にお持ち下さい。ダウンロードは 3 月 8 日から可能になります。参加票ホルダーは会場にて配布します。

各種企画一覧

本年会での行事、企画は下表の通りです。プログラム等の詳細情報は春季年会ウェブサイトにてご確認下さい。

分類	企画名	3月22日(水)		3月23日(木)		3月24日(金)		3月25日(土)			
		午前	午後	夕方	午前	午後	夕方	午前	午後	夕方	午前
	会長講演・表彰式					●					
	市民公開講座 かがくの挑戦										●
	わくわく実験教室 やってみよう！不思議な化学実験～ダンプンのりで手品？～									●	●
	元素川柳				正午締切						結果発表
	付設展示会	●	●		●	●		●	●		
▼ 以下は『シンポジウム企画』です。春季年会の参加登録が必要です。											
イノベーション共創プログラム(C-IOP)	化学材料DXにおけるデータ収集とその活用									●	●
	PCP/MOF実用化事例と機能開拓最前線				●	●					
	インフォマティクス基礎：今日から始めるデータ駆動型化学研究	●	●	●							
	マテリアルズ・インフォマティクスの新潮流とその実践的応用				●	●	●				
	太陽電池技術の次なる潮流～どこまで進んで、どこへ向かうのか？				●	●	●				
	カーボンネガティブの実現に向けた革新的触媒技術						●	●			
	ポストリチウムイオン電池研究開発の最前線	●	●								
	低炭素社会実現のための熱エネルギー有効活用技術								●	●	
	バイオ医薬品の最前線を支えるスマートケミストリー	●	●								
	感染症を診断・予防するヘルスケアテクノロジー						●				
シンポジウム	未来の健康を支える創薬系バイオベンチャー						●	●	●		
	フレキシブル分子性結晶材料ソフトクリスタルによる革新的技術開発						●	●			
	生物間相互作用に関わる最新分子	●									
	シーケンシャル物質化学：原子・分子の精密序列配置に向けた新アプローチ		●								
	次世代分子システム化学のフロンティア—協奏的機能発現のメカニズム					●					
シンポジア国際	インフォマティクスが拓く化学の新天地							●			
	人工光合成実現の鍵：光励起キャリアを観る・操る	●									
	International Symposium on Molecular Science—Physical Chemistry / Theoretical Chemistry, Chemoinformatics, Computational Chemistry—Cosponsored by Japan Society for Molecular Science			●	●						
	Asian International Symposium—Photochemistry—									●	
特別企画	Asian International Symposium—Inorganic Chemistry / Coordination Chemistry and Organometallic Chemistry—					●	●				
	光化学の新展開：合成、計測、機能のインタープレイ！						●				
	蛋白質ダイナミクス化学：蛋白質の動きを捉え操る化学と材料科学									●	
	サステナブル・機能レドックス化学の未来	●									
	ルミネッセンス化学アンサンブル：超スマート社会に向けた発光センシングの新展開										●
▼ 以下は『併催シンポジウム』です。年会の参加登録は不要でどなたでもご参加いただけます。											
ショボン企画	(JST) さきがけ「自在配列」研究成果報告会				●	●					
	新学術領域研究『発動分子科学』報告会		●								
	(JST) CREST「革新的反応」研究成果報告会								●		
	全固体電池のプロセスサイエンス 第2回シンポジウム			●							
シンポジウム委員会	論説フォーラム「日本の化学力を高めるために」						●				
	第29回化学教育フォーラム							●			
	ケミカルレコード・レクチャー 2023						●				